

令和8年6月

品川区長 定例記者会見



6月補正予算案 主要施策

1. 不妊治療支援(生殖補助医療および先進医療)の拡充

都助成に上乗せし自己負担をさらに軽減

都内初 助成件数を拡充し、継続的な治療を支援

2. 高齢者デジタルデバインド解消事業

スマホ購入費を最大3万円補助し、デジタル活用を後押し

区内ドコモショップでも「しながわ電気・ガス料金緊急支援事業」の申請や「品川区防災アプリ」インストールなどのサポートを実施

3. 病児保育施設の新規開設

北品川に医療機関併設型の病児保育施設を新設 ▶ 地域の偏在を改善し、働きながら子育てしやすい環境を整備

4. 麻しん対策事業

感染拡大を防ぐため、抗体検査(無料)と予防接種(麻しん単独:3,000円、MR:5,000円)を助成 19歳以上の全区民が対象

新たに開始する取組

7月1日開始 子どもの施設使用料無料化事業

プールや体育館などの区有公共施設の子ども料金を所得制限なく「0円」に

区民の安心と暮らしを支える 4つの施策

不妊治療支援 拡充



自己負担軽減
助成回数拡充

高齢者 デジタル支援



スマホ購入費
最大3万円補助

子育て支援の充実



北品川に
病児保育施設を新設

感染症対策強化



抗体検査と
予防接種費用を助成

デジタル、子育て、健康づくり等の支援を通じて
区民のウェルビーイングの向上を目指す

6月補正予算総額

約3億344万円

1.不妊治療支援(生殖補助医療および先進医療)の拡充

予算:3,871千円

— 令和8年6月 品川区長 定例記者会見 —

不妊治療への取り組みを支援 自己負担額の軽減 および 助成回数拡充

助成の概要(拡充後)		制度変更による自己負担軽減イメージ	
対象者	治療開始から継続して区内在住の方 (婚姻関係・事実婚の夫婦)		
助成内容	○助成額:1回あたり上限5万円 ○助成回数:39歳まで 最大6回⇒9回 40~42歳 最大3回⇒6回		
対象の治療	生殖補助医療(保険適用) 先進医療(保険適用外) ※令和8年4月1日以降に開始した治療		
申請開始	令和9年1月~		
		現行制度	新制度
		都助成 先進医療費に対し 7割助成 (上限150,000円)	生殖補助医療費・先進医療費に対し 10割助成 (上限150,000円)
		区助成 生殖補助医療費に対し 1回50,000円	生殖補助医療費・先進医療費に対し 都助成に上乗せ 1回50,000円 (助成回数拡充)

1.不妊治療支援(生殖補助医療および先進医療)の拡充

予算:3,871千円

— 令和8年6月 品川区長 定例記者会見 —

治療継続のために **助成回数を拡充** **都内初**

		現行制度	新制度
助成金額		1回につき5万円	1回につき5万円
対象回数	39歳まで	6回まで	9回まで
	40~42歳	3回まで	6回まで

2. 高齢者デジタルデバイス解消事業

予算:12,634千円

— 令和8年6月 品川区長 定例記者会見 —

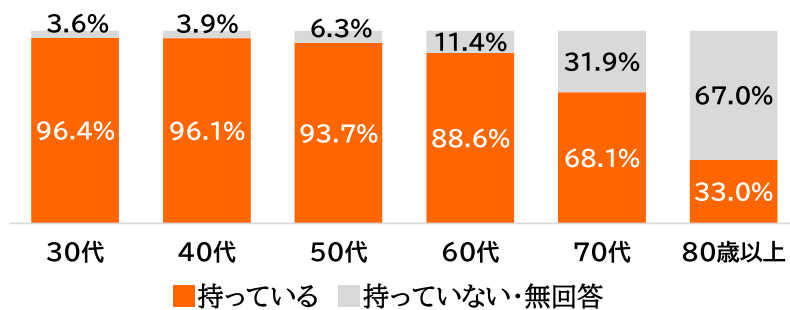
スマホ購入費を最大3万円補助しデジタル活用を後押し 高齢者のデジタルデバイス(スマホを持たないことで生じる情報格差)を解消

背景

70歳代の約3割、80歳以上の約7割が「スマホなし」

「防災情報」や「行政情報」などを
迅速に届けるために早急に支援体制を整備

スマートフォン保有率 (出典:総務省「令和7年通信利用動向調査」)



事業概要

スマホを持たない65歳以上の区民に

スマホ購入費を最大3万円補助

行政サービス・防災情報等に活用

補助条件

- 購入店が実施するスマホ教室等を受講
- 東京都公式アプリ新規登録
- 電子申請で補助金申請手続き

区が実施するスマホよろず相談に加え、
株式会社NTTドコモとの包括連携協定締結により
区内ドコモショップで各種申請サポートを実施

- 「しながわ電気・ガス料金緊急支援事業」申請サポート
- 「品川区防災アプリ」の登録サポート 等



3. 病児保育施設の新規開設

予算: 25,568千円

— 令和8年6月 品川区長 定例記者会見 —

背景

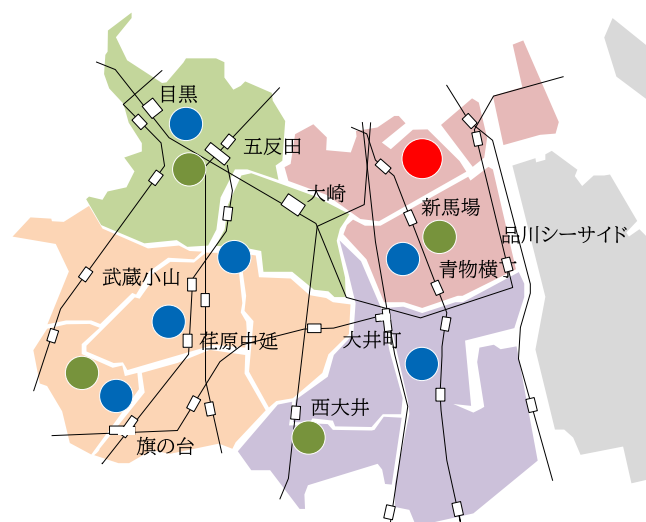
施設増設のニーズが高く、また既存施設に地域偏在がある

北品川に医療機関併設型の病児保育施設を新設

病児保育施設の増設

令和9年1月開設(予定)により、地域偏在を改善

子育てと就労の両立を支援



- のぞみクリニック(新規開設)
- 病児保育施設(既存)
- 病後児保育施設(既存)

病児保育 **1施設**を増設
合計7か所に

4. 麻しん対策事業

予算:44,961千円

— 令和8年6月 品川区長 定例記者会見 —

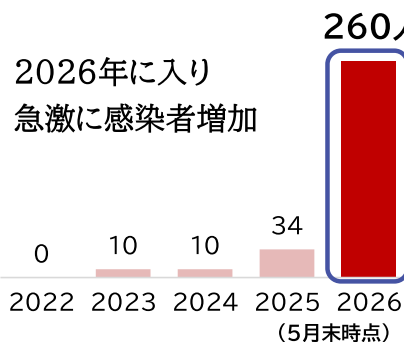
都内で急増する「はしか」から区民を守る

19歳以上で希望する全区民へ 抗体検査費用・予防接種費用を助成

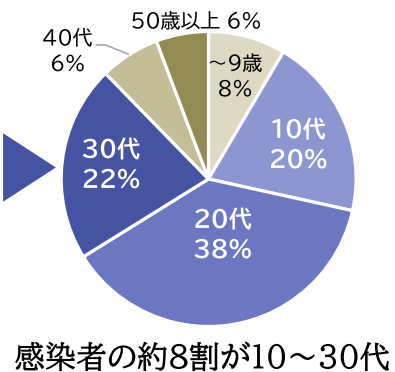
背景

都内の若い世代に急増する「はしか」感染
発生予防・蔓延防止対策が急務

【はしか報告数の推移(都)】



【年齢別はしか報告数(都)】



(データ出典:東京都健康安全研究センター)

助成の受け方・助成内容

抗体値が低い区民への接種費用助成



抗体検査(無料)



抗体あり
終了



抗体不足
予防接種へ



予防接種(助成あり)

対象

19歳以上で希望する区民

抗体検査

無料(全額助成)

MRワクチン

(麻しん風しん混合)

5,000円助成

麻しんワクチン

3,000円助成

プールや体育館などの区有公共施設の子ども料金を所得制限なく「0円」に

利用方法



対象

18歳以下(区内に住民登録)
(18歳になった年の3月31日まで)



開始日

令和8年 7月1日(水)
※事前申請は6月1日～



利用方法

子ども使用料免除カード **しなか** 提示で無料に
しなか交付には申請(電子申請)が必要

対象施設例

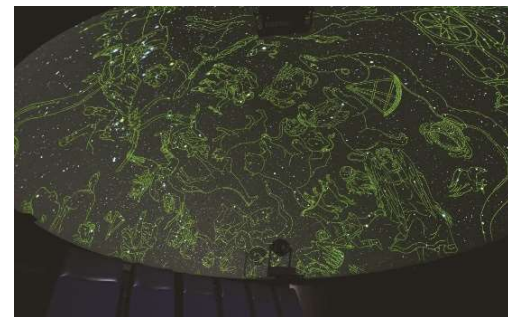
区内16施設



屋外プールと6ヶ所の室内温水プール
区立プール



しながわ中央公園
ボルタリング場



五反田文化センター
プラネタリウム